

# 大船渡だより

発行人 諏訪榮治郎  
編集 スタッフ一同



## 国際交流 DAY

「大船渡ベースと一緒にベトナム料理を楽しみましょう!」と、第1回の「国際交流DAY」を9月13日の昼食時に開き、これからは月初めの土曜日に開催することにしました。たまたまベトナムからのボランティアさんが来ていたことや、フィリピンの方々、特に大船渡教会のフィリピン出身者のグループのパガサ会の関わりもあり、ベトナム、フィリピンのお料理、たこ焼きなどを食べながら40人以上の方が楽しいひと時を過ごしました。子供たちは食後、ゲームをしたり鬼ごっこをしたり、すぐ仲良しになり、まさに食文化交流を通して絆を広げ、交わりを深めることができた時でした。ベースのこれからの活動の柱として国際交流は大切な役割を担っていく事と思います。

現在、大船渡と陸前高田を合わせると、パガサ会のメンバーは、チリ、インドネシア、中国、韓国、フィリピンと、全部で65人です。仕事をしている方が多いのですが、皆さんは、日本の文化や社会を学びたいと意欲にあふれています。友好関係を深めながら、交流会を広げていくことが出来れば良いと思います。

美味しそうなお料理がテーブルいっぱいになりました!



震災から  
3年7ヶ月...

ボランティア登録者数 男性470人、女性803人：合計1273人  
9月16日～10月15日 ボランティア数 男性：3名、女性：23名

## 災害公営住宅の建築が進んでいます!

災害公営住宅は、県や市町村が整備し、自宅を失った被災者に安い家賃で恒久的に貸し出す住宅です。東日本大震災では国の復興交付金から建設費の7/8がまかなわれ、維持管理費は自治体の負担となります。

陸前高田市では市内12か所に1000戸分の建設計画がされている中、第1号となる下和野災害公営住宅、4棟構造の7階建て120戸が昨年8月に着工し、今年10月より入居がはじまりました。浸水被害を受けた場所ですが、造成工事での発生土を利用し、TP（東京湾平均海面）12mまで盛り土を行いました。また大船渡市では市内26か所に800戸が計画され、今年春から入居がはじまっています。

ある入居者の方は、3年半前の津波で奥さんが犠牲になり、自宅は全壊、避難所に長男と身を寄せました。いや応なしに始まった避難所生活。困難もありましたが、3か月後には仮設住宅に移り住みました。今、災害公営住宅に入り、震災前の普通の日常が戻ってきたと感じています。住宅は1軒家から集合住宅になり、暮らす地区も変わりましたが、この生活を取り戻すまでに3年半もかかりました。「自分や他の入居者にとって、これからの生活がより良いものになってほしいと願っています。」とおっしゃっています。

### 9月・10月 地域の変化 活動紹介

- 9月**
- 19日：全ベース会議@福島県 野田町教会
  - 20日：お食事会inカリタス (ベトナム料理を地域の方と楽しみました。) カリタスシネマ
  - 21日：夙川教会 報告会
  - 23日：敬老会inカリタス
  - 27日：さいとう製菓 工場見学秋祭り
  - 28日：広田水産仮設住宅 足湯補助
  - 29日：深大寺陶芸教室
  - 30日：岩手県沿岸広域振興局企画 復興の現場見学会 参加
- 10月**
- 4日：陸前高田市 災害公営住宅 入居開始
  - 6日：台風18号接近 活動自粛 末崎町の一部で木の倒壊により停電
  - 11日：3年7か月 月命日 個人宅草刈り
  - 12日：大船渡市ボランティアセンター 個人宅清掃 地ノ森二区町内清掃 参加
  - 14日：台風19号 7時 大船渡市最接近



下和野災害公営住宅↑

カリタス大船渡ベース 地ノ森いこいの家  
電話・FAX: 0192-47-4737 (9:00~18:00)  
急用時: 080-2440-5610  
●〒022-0002 岩手県大船渡市大船渡町字地ノ森43-2  
●Eメール: ofunatobase@gmail.com  
●ブログURL: http://ameblo.jp/ofunatobase/